

2011年8月18日 01:18 カテゴリー: [九州](#) > [福岡](#)

北九州市立大で建築や景観について学んでいるインドネシア人留学生4人が、20日から若松区のひびきのキャンパス学術情報センター2階ロビーで水彩画展を開く。来月の帰国を前に、この1年間で描いた日本各地の風景や人物画約30点を披露する。

4人は昨年9月に来日。絵が好きで、京都や奈良、東京など旅行先で撮った写真をもとに水彩画を描いてきた。ティファ・ヌ・ラティファさん(26)は「若松の洞海湾がお気に入り」。ダフィナ・イワナさん(22)は「日本で触れ合った方々に感謝の気持ちを伝えたい」と話している。

入場無料。9月4日まで(31日は休み)。問い合わせはバート・デワンカー研究室=093(695)3245。

=2011/08/18付 西日本新聞朝刊=



「ぜひ見に来てください」と水彩画を手に呼び掛けるインドネシア人留学生